～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 大腿骨頸部骨折に対する骨接合術においてインプラント設置位置が及ぼす影響』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 助教・高田和孝

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は大腿骨頸部骨折に対して骨接合術を施行した場合、インプラント設置がどのような影響を及ぼすかを解析することを目的とした研究に利用します。研究方法は、骨接合術は人工股関節や人工骨頭と比べ低侵襲で行える手術ですが、骨折の形や年齢などによって行えない場合や、独自の合併症があります。その中でもインプラントの固定性は骨折を安定させるためには非常に効果的である反面、正確に設置下としてもトラブルがおこる場合があります。そこで、骨接合術を行ったあとに手術後1年間で体内金属のズレなどのトラブルがおきた方とそうでない方を入院時や外来時のカルテ内容や画像データなどから検討して、もっとも効果的な金属の設置位置やその他の要因を解析します。

この研究で得られる成果は、患者様に適切な手技を提供することにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報の内容、X線やCT、MRIなどの画像情報、採血や生理検査結果などを使用します。研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年2月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当なし

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2018年4月～2022年3月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、大腿骨頸部骨折の診断で骨接合術の手術を受けた方おおよそ50名

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

対象年齢は65歳以上です。

観察期間は2018年4月～2023年3月までの手術後1年間です。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 高田和孝 役職： 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方、もしくは代諾者(研究対象者の親権を行う方、配偶者やその成人した子供、後見人その他これらに準じる方で、両者の生活の実質や精神的共同関係から見て、研究対象者の最善の利益を図りうる方)は、2024年2月29日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教・高田和孝

電話 03-3468-1251 内線